

防災ハザードマップ改訂版の発行について

1. 概要

2019年3月に作成した防災ハザードマップについて、今回、国および県が管理する河川について洪水浸水想定区域図が公表されたことや、土砂災害（特別）警戒区域の指定があったことから4年ぶりに改訂した。

水害や土砂災害などから身を守るために、日頃から備えておくべきことや、地域の危険箇所を平常時に確認していただき、台風や大雨などの際に、市民が慌てずにより安全な避難行動がとれるよう、広報とちぎ7月号に合わせて全戸配布した。

2. 構成

①災害を知る（1～16ページ）

- ・地震、洪水、土砂災害を知る
- ・災害時にとるべき行動を知る

②避難を考える（17～86ページ）

- ・自宅や職場の危険性を確認する
- ・避難経路を考える

③災害に備える（87～100ページ）

- ・日頃から災害に備える

3. 主な変更点

①洪水浸水想定区域図の対象河川

対象河川が6河川から20河川へ14河川増加した。

2019年3月版 渡良瀬川、思川、黒川、永野川、秋山川、巴波川

2023年6月版 【今回追加河川】利根川、逆川、江川、三杉川、小藪川、赤津川、藤川、柏倉川、出流川、杣井木川、蓮花川、与良川、荒川、箱の森池

②個別河川マップの追加

前回は6河川の最大浸水深を重ね合わせたマップだけだったが、今回は、河川ごとの最大浸水深マップおよび浸水継続時間マップを追加した。

③土砂災害警戒区域の反映

県が令和4年5月に指定・公表した土砂災害警戒区域を反映した。

土砂災害警戒区域が632箇所から840箇所へ208箇所増加した。

④地震関係マップの追加

栃木県が平成25年度に実施した栃木県地震被害想定調査による、栃木市直下地震を想定した場合の「揺れやすさマップ」と「液状化危険度マップ」を追加した。

⑤マイ・タイムラインの追加

台風や大雨などの時に、自分自身がとる防災行動を時系列的に整理し、自ら考え命を守る避難行動の一助とするため追加した。

⑥その他

- ・重ね合わせ図の縮尺を1/17,500から1/15,000に変更
- ・指定避難所などを最新の情報に更新
- ・水位計および河川カメラをスマートフォンで確認できるよう、地図上にQRコードを追加
- ・車の避難場所を追加

4. 住民説明会

防災ハザードマップの見方や活用方法などについて、下記日程により住民説明会を開催予定。

開催日	会場	時間
7月31日(月)	とちぎ岩下の新生姜ホール 小ホール (栃木文化会館)	18時30分から
8月1日(火)	都賀公民館 講堂	
8月2日(水)	大平文化会館 ホール	
8月3日(木)	吹上公民館 大交流室	
8月4日(金)	藤岡文化会館 ホール	
8月7日(月)	ゆったり～な 多目的ホール (北部健康福祉センター)	
8月8日(火)	国府公民館 大交流室	
8月9日(水)	コスモスホール ホール (岩舟文化会館)	

【問合先】 総合政策部 危機管理課
危機管理係 川嶋・大関
TEL : 0282-21 - 2551